

# 異常高温時はこまめな水管理を行いましょう

## 1 異常高温時の水管理について

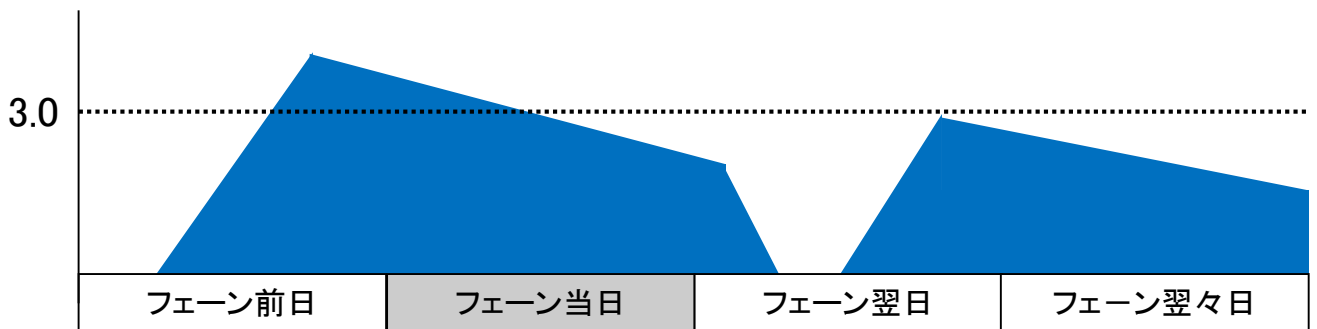
- ・令和元年は、コシヒカリの高温に対する感受性が最も高い時期にフェーンによる異常高温被害が発生し、品質が大幅に低下しました。
- ・異常高温による被害軽減のために、緊急的な技術対応として、ほ場の水温上昇を抑える水管理を徹底する必要があります。
- ・地域の水利条件を考慮しつつ、河川等から取水可能な用水を最大限利用して、こまめな水管理を行いましょう。

### (1) 短期間(1日以内)のフェーン時の水管理

- ・方法: 異常高温、強風フェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、稲体からの急激な蒸散による高温障害の発生防止に努める。フェーン通過後は飽水管理に移行する。
- ・用水量: 湛水深は可能であれば3cm以上に保つ。

#### 水管理のイメージ

水位 (cm)



### (2) 高温・乾燥が2日以上続く場合の水管理

- ・方法: ほ場の水温上昇を抑えるこまめな水管理を行う。